

# 予防接種について

## 《 日本脳炎第1期 》

### 金沢市の乳幼児期に受ける定期予防接種

(2020年10月1日現在)

乳幼児期の予防接種		受ける時期と接種回数	ワクチン種別
ロタウイルス	ロタリックス	出生6週0日後から24週0日後まで(初回接種については、標準として生後2か月から出生14週6日後まで)に27日以上の間隔をおいて2回経口投与	生ワクチン(経口)
	ロタテック	出生6週0日後から32週0日後まで(初回接種については、標準として生後2か月から出生14週6日後まで)に27日以上の間隔をおいて3回経口投与	
Hib (インフルエンザ菌b型)	初回	【標準的な接種パターン】 生後2か月～7か月の前日までに接種開始の場合 初回: 27日(医師が認める場合は20日)以上(標準として27日～56日)の間隔をあけて2回接種(生後12か月の前日までに完了) 追加: 初回3回終了後、7か月以上(標準として7か月～13か月)あけて1回接種(注)	不活化ワクチン
	追加	【標準的な接種パターン以外の場合】 ①生後7か月～1歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 初回: 27日(医師が認める場合は20日)以上(標準として27日～56日)の間隔をあけて2回接種(生後12か月の前日までに完了) 追加: 初回2回終了後、7か月以上(標準として7か月～13か月)あけて1回接種(注) ②1歳の誕生日～5歳の誕生日の前日までに接種開始の場合: 1回接種	
小児用肺炎球菌	初回	【標準的な接種パターン】 生後2か月～7か月の前日までに接種開始の場合 初回: 27日以上の間隔をあけて3回接種(生後24か月(標準として生後12か月)の前日までに完了) 追加: 初回3回終了後60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に(生後12か月～15か月の前日までを標準的接種期間として)1回接種(注)	不活化ワクチン
	追加	【標準的な接種パターン以外の場合】 ①生後7か月～1歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 初回: 27日以上の間隔をあけて2回接種(生後24か月(標準として生後12か月)の前日までに完了) 追加: 初回2回終了後60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に1回接種(注) ②1歳の誕生日～2歳の誕生日の前日までに接種開始の場合 60日以上の間隔をあけて2回接種 ③2歳の誕生日～5歳の誕生日の前日までに接種開始の場合: 1回接種	
B型肝炎		1歳の誕生日の前日まで(標準として生後2か月～9か月になるまで)に27日以上の間隔をおいて2回接種した後、1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回接種	不活化ワクチン
ジフテリア 百日せき 不活化ポリオ 破傷風 (DPT-IPV)	1期 初回 1期 追加	生後3か月～90か月(7歳6か月)の前日までに 初回: 20日以上(標準として20日～56日)の間隔をあけて3回接種 追加: 1期初回(3回)終了後、6か月以上(標準として1年～1年半)あけて1回接種	不活化ワクチン
BCG		1歳の誕生日の前日まで(標準として生後5か月～8か月になるまで)に1回接種	生ワクチン
麻しん 風しん (MR)		1期 生後12か月～24か月(2歳の誕生日の前日)までに1回接種 2期 小学校就学前1年間(幼稚園等の年長さん相当の年齢)にある間に1回接種 ※別途個別に通知します。	生ワクチン
水痘		生後12か月～36か月(3歳の誕生日の前日)までに3か月以上(標準として6か月から12か月まで)の間隔をあけて2回接種 ※1回目の標準的な期間は、生後12か月から生後15か月になるまでです。	生ワクチン
日本脳炎	1期 初回 1期 追加	生後36か月(3歳 <sup>※</sup> )～90か月(7歳6か月)の前日までに ※標準的な接種開始時期は3歳です。生後6か月から接種可能です。 初回: 6日以上(標準として6日～28日)の間隔をあけて2回接種 追加: 1期初回(2回)終了後、6か月以上(標準としておおむね1年)あけて1回接種	不活化ワクチン

(注) Hibワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンは、接種開始月齢等によって接種回数が異なります。接種回数、間隔などは接種種とよく相談ください。その他、任意予防接種として、おたふくかぜ、インフルエンザなどがあります。

### 日本脳炎とは？

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され、感染します。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になることがあります。ヒトからヒトへの感染はありません。国内での患者発生は西日本地域が中心ですが、日本脳炎ウイルスは西日本を中心として日本全体に分布しています。飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年6月から10月頃まで続きますが、この間に、地域によっては、約80%以上のブタが感染しています。以前は小児、学童に多く発生していましたが、予防接種の普及、環境の変化などで患者数は減少しました。最近では高齢者を中心に患者が発生していますが、H27年には10か月児の日本脳炎確定例が報告されています。感染者のうち100～1,000人に1人が脳炎を発症します。脳炎以外に髄膜炎や夏かぜ様症状もみられます。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。

### 乾燥培養日本脳炎ワクチン

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンは、日本脳炎ウイルス(北京株)をペロ細胞という細胞でウイルスを増殖させ、ホルマリンなどでウイルスを殺し(不活化)、精製したものです。平成21年以降、定期の予防接種のワクチンとして認可となりました。

### 副反応

ほとんどが接種後3日までにみられ、主なものは、発熱、せき、鼻水、はれ、注射部位の紅斑、発疹などです。なお、その他にショック、アナフィラキシー様症状、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳症、けいれん、急性血小板減少性紫斑病などの重大な副反応がみられることがあります。

### 特例対象のお知らせ

平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの方で、第1期(3回)の接種を終了できなかった方は、特例として9歳以上13歳の誕生日の前日まで(第2期の接種対象年齢)の期間に、第1期の未接種分を接種することができます。

周知方法

個別通知

接種場所

予防接種協力医療機関

接種時期

通年